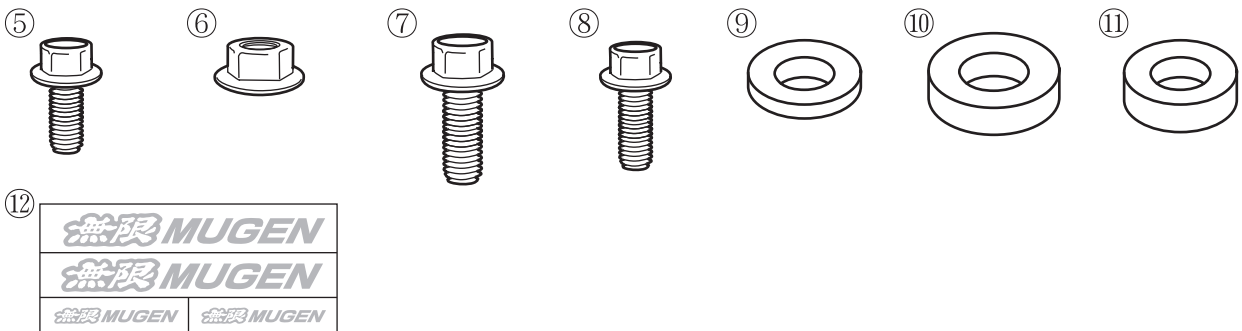
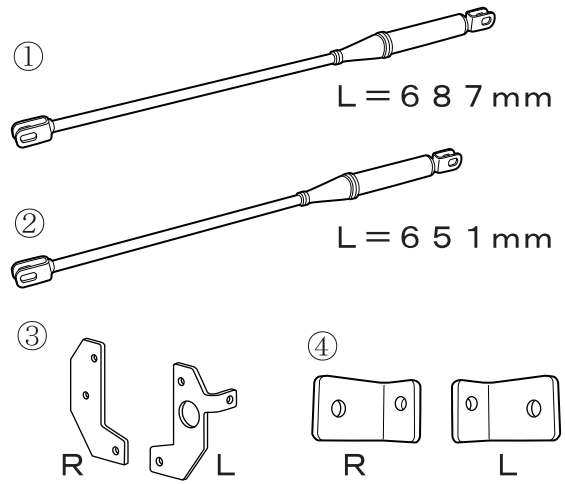


【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	パフォーマンスダンパー (FR)	1
②	パフォーマンスダンパー (RR)	1
③	フロントブラケット (R/L)	各1
④	リアブラケット (R/L)	各1
⑤	フランジボルト a M8×25	4
⑥	フランジナット M10	4
⑦	フランジボルト b M10×35	4
⑧	フランジボルト c M8×30	2
⑨	カラー a t3.0	3
⑩	カラー b t6.0	4
⑪	カラー c t5.0	2
⑫	ステッカー	1



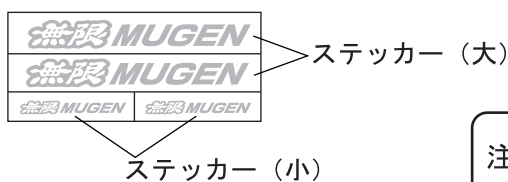
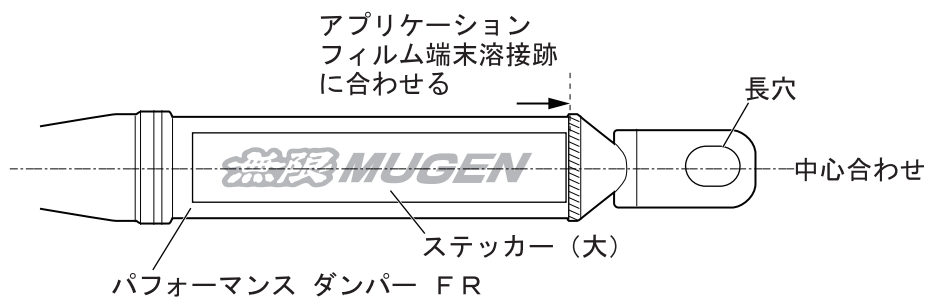
【必要工具】

- ・ドライバー + ・クリップリムーバー ・スパナ、メガネレンチ 12mm、14mm
- ・ボックスレンチ 12mm、14mm ・トルクレンチ ・ドリル ・エアソー

■ステッカーの貼り付け

①パフォーマンスダンパー (FR/RR) のシリンダー部に下図要領でステッカー (大) を貼り付ける。

その際、貼り付け面を脱脂洗浄すること。



注意

ステッカー (大) を貼り付ける。
※ステッカー (小) はご自由にご使用下さい。

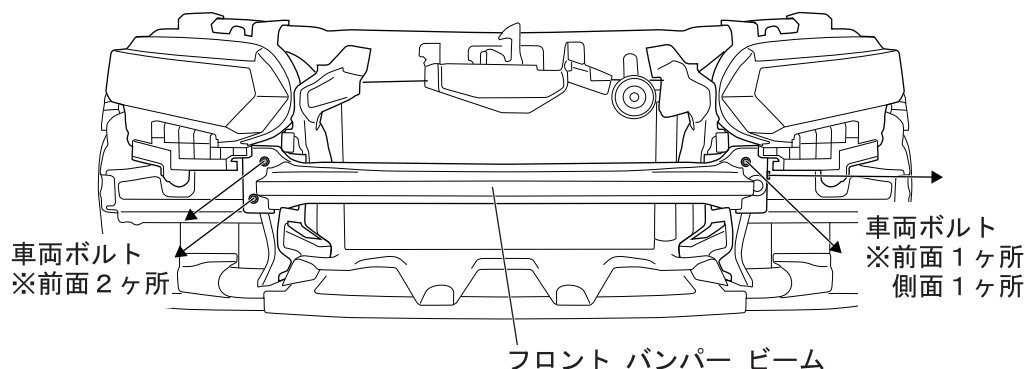
I. フロント側の取付準備

- 《注意》・ボルト・ナット類は錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
 ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行う事。

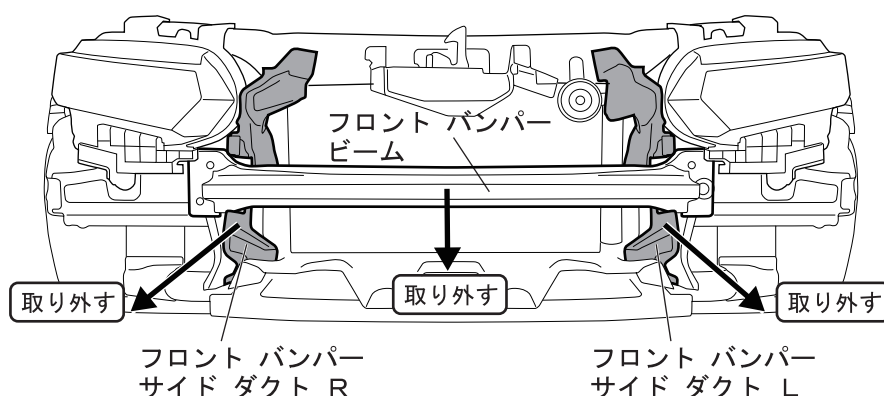
①車両からフロント バンパーを取り外す。（サービスマニュアル参照）

②フロント バンパー ビーム基部の図示車両ボルトを取り外す。

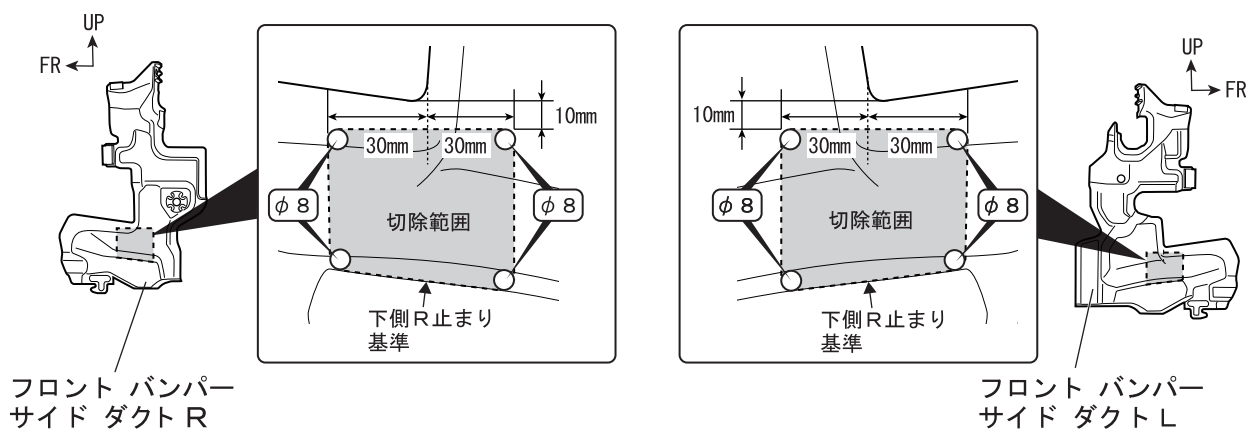
※取り外した車両ボルトは再利用しない。



③車両からフロント バンパー ビームを取り外し、フロントバンパー サイド ダクト (R/L) を取り外す。（サービスマニュアル参照）

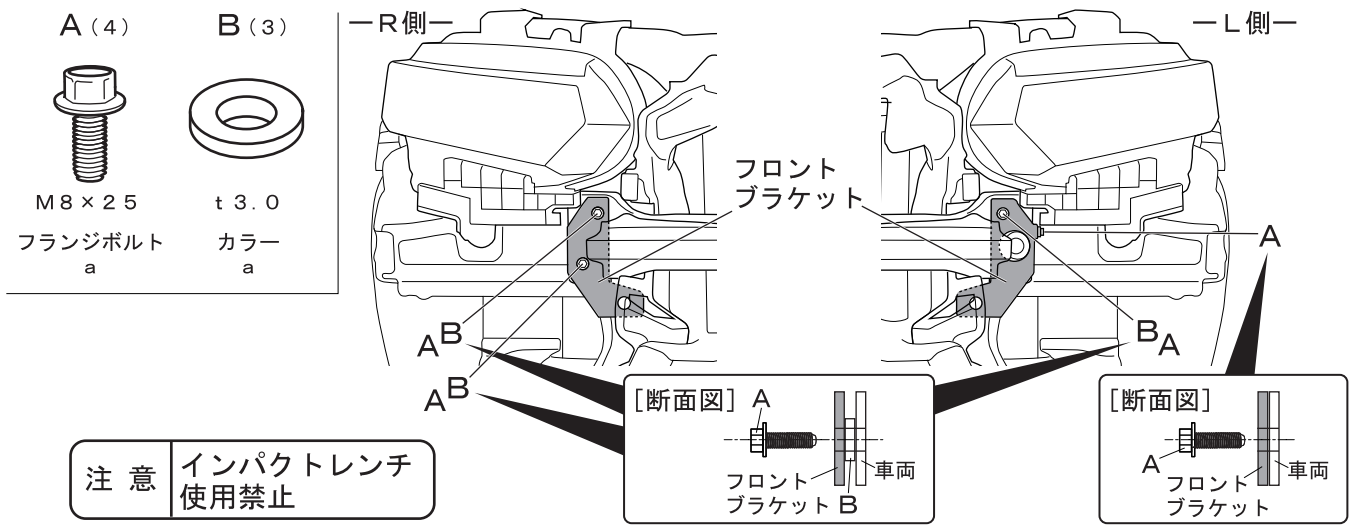


④フロント バンパー サイド ダクト (R/L) を下図のように寸法計測し、切除加工する。切除加工の際は、下図のようにカットラインの角部にφ8の穴を開け、穴を結ぶようにエアソー等で切除する。



⑤フロント バンパー サイド ダクト (R/L) を復元する。（サービスマニュアル参照）

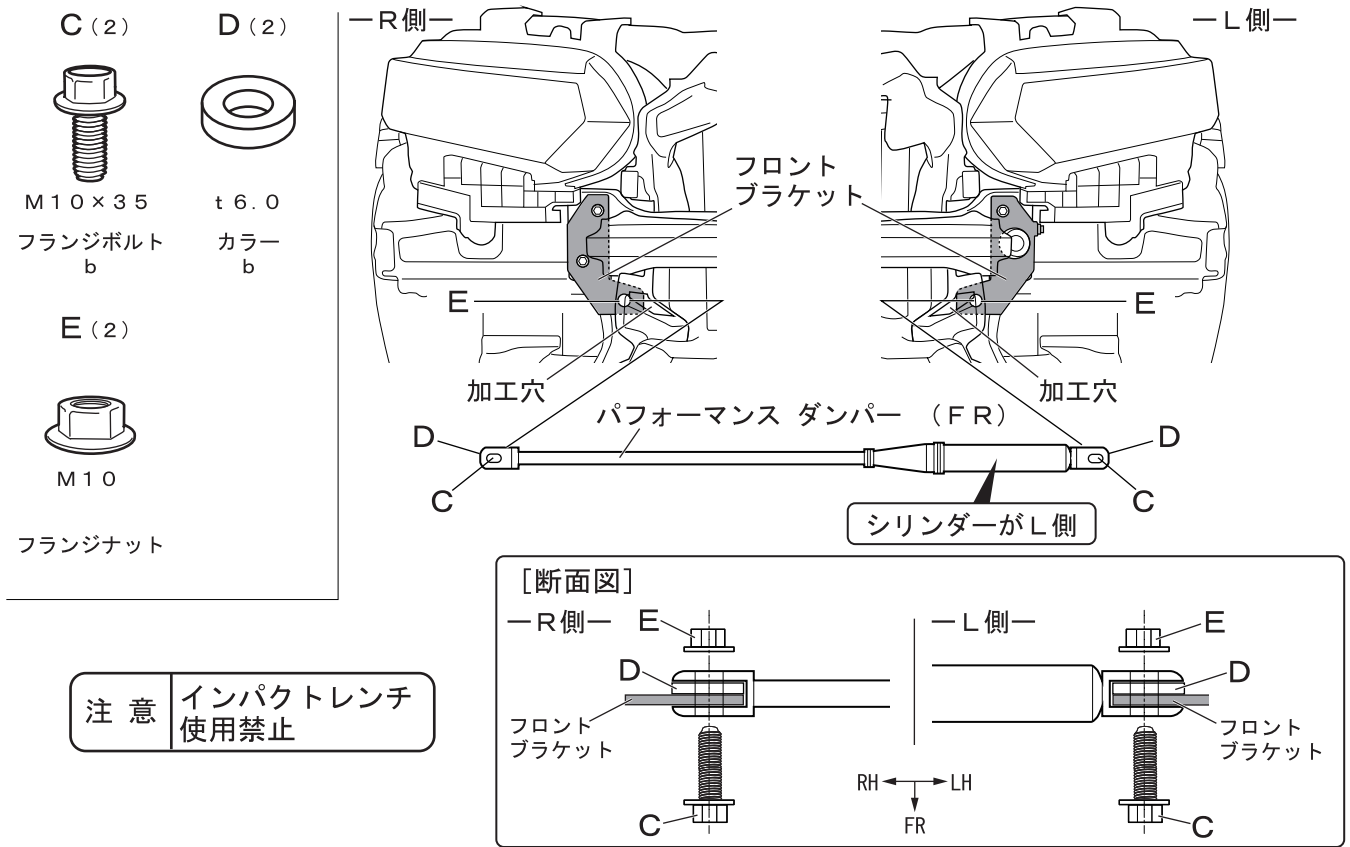
- ⑥フロントバンパービーム基部にフロントブラケット（R/L）をフランジボルト a（A）で仮締めする。
 その際にフロントブラケットと車両の間（前面のみ）にカラー a（B）を入れる。
 （カラー a（B）：R側2ヶ所、L側1ヶ所）



II. フロント側の取付

- 《注意》・ボルト・ナット類は錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
 ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行う事。

- ①パフォーマンスダンパー（FR）をフロントバンパーサイドダクト（R/L）加工穴に通し、フロントブラケットにフランジボルト b（C）、フランジナット（E）で仮締めする。
 その際にカラー b（D）をパフォーマンスダンパー（FR）とフロントブラケットの間に
 入れる。



②取付位置や各部の干渉等を確認し、I-⑥で仮締めしたフランジボルト a (A) 左右各 2ヶ所、II-①で仮締めしたフランジボルト b (C) 左右各 1ヶ所を下記指定トルクで本締めする。

■締め付けトルク

- ・フランジボルト a (A) : 21 N・m
- ・フランジボルト b (C) : 40 N・m

注意

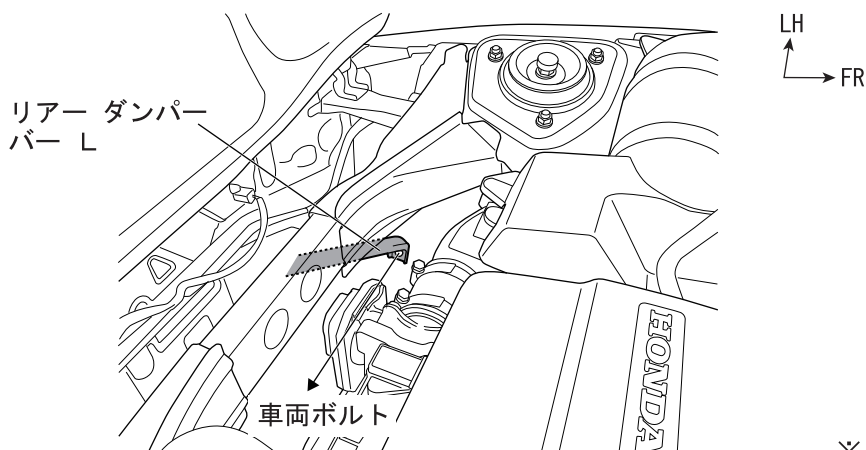
車両 (4輪) 水平な場所で 1 G 接地状態で締め付け作業する事。

③フロント バンパーを復元する。(サービスマニュアル参照)

Ⅲ. リア側の取付準備

- 《注意》・ボルト・ナット類は錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
 ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 ・作業は左右同様に行うこと。

①エンジンルーム内後方のリアー ダンパー バー (R/L) 車両側部の車両ボルトを取り外す。
 ※取り外した車両ボルトは再利用しない。

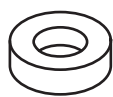
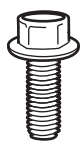


※R側も同様

②リアブラケット R/L をフランジボルト c (F) でエンジンルーム内後方のリアー ダンパー バー (R/L) と共に仮締めする。その際にカラー c (G) をリアブラケットとリアー ダンパー バーの間に入れる。

F (2)

G (2)



M8×30

t 5.0

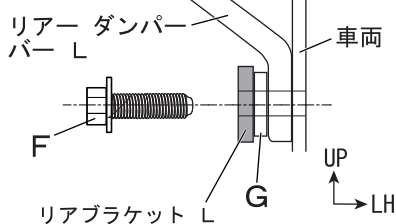
フランジボルト
c

カラー
c

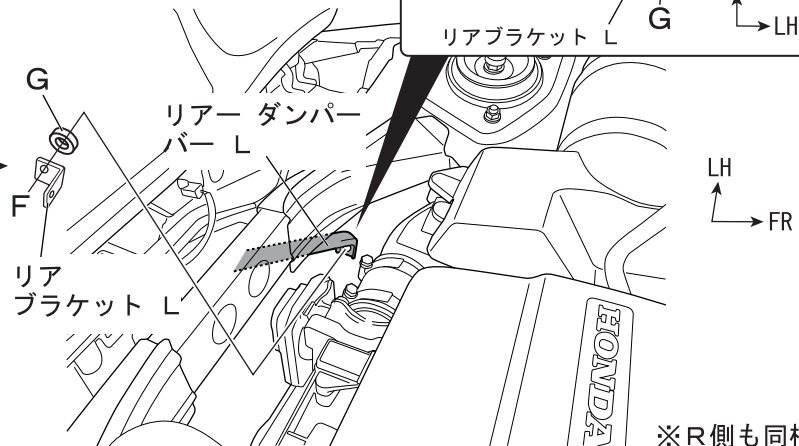
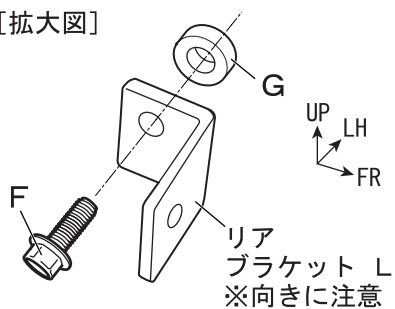
注意

インパクトレンチ
使用禁止

[断面図]



[拡大図]



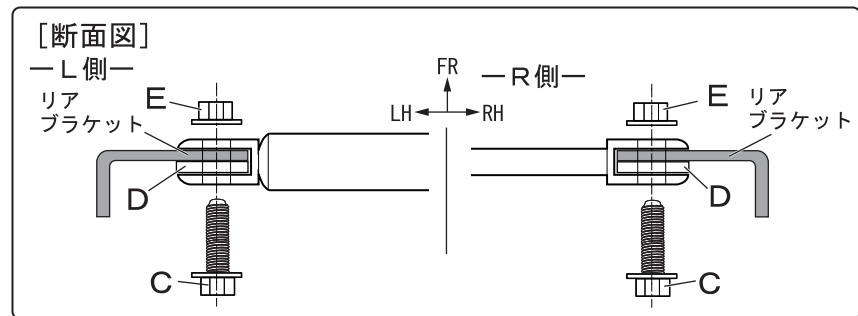
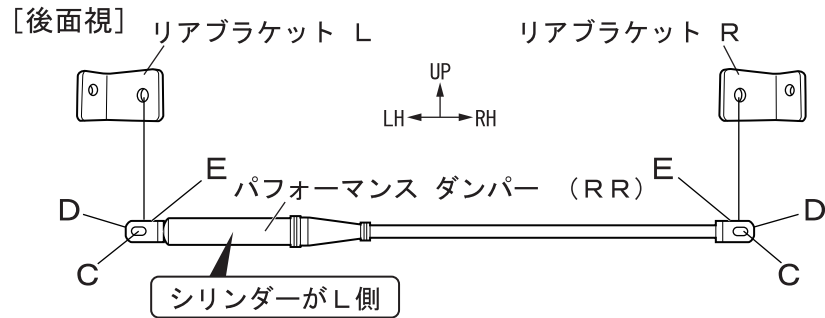
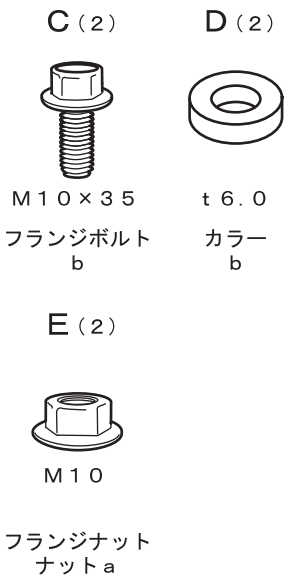
※R側も同様

IV. リア側の取付

- 《注意》・ボルト・ナット類は錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
 ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 ・作業は左右同様に行うこと。

①パフォーマンスダンパー（RR）をリアブラケットR/Lにカラーb（D）と共にフランジボルトb（C）とフランジナット（E）で仮締めしてリアブラケットR/Lの位置を合わせる。その際、必要に応じてIII-2で仮締めしたリアブラケットR/Lを緩め、位置合わせを行い再度仮締めする。

※位置は下図参照



注意 インパクトレンチ使用禁止

②フランジナット（E）とフランジボルトb（C）を外し、パフォーマンスダンパー（RR）を外してリアブラケットR/Lを仮締めしたフランジボルトc（F）を下記指定トルクで本締めする。

■締め付けトルク

・フランジボルトc（F）：21 N・m

注意

車両（4輪）水平な場所で1G接地状態で締め付け作業する事。

③再度パフォーマンスダンパー（RR）をリアブラケットR/Lにカラーb（D）と共にフランジボルトb（C）とフランジナット（E）で取り付け、下記指定トルクで本締めする。

■締め付けトルク

・フランジボルトb（C）：40 N・m

注意

車両（4輪）水平な場所で1G接地状態で締め付け作業する事。

④取付状態が完全か確認する。